



## 後部クイックアタッチシステム

2013 年度以降の Groundsmaster® 7200 シリーズ芝刈り機 ヤンマーエンジンまたはクボタエンジン搭載機用

モデル番号 30810—シリアル番号 400000000 以上

モデル番号 30812—シリアル番号 403300001 以上

### 取り付け要領

**重要**このキットを取り付ける前に、補助パワーユニットキットToro P/N 30382を取り付けてください。

#### ⚠ 警告

カリフォルニア州

第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

## 安全について

### 安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。

⚠ WARNING: Cancer and Reproductive Harm - www.P65Warnings.ca.gov.  
For more information, please visit www.ttcocAProp65.com

133-8061

decal133-8061

133-8061



# 取り付け

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	シリンダサポートアセンブリ ボルト3/8 x 2-3/4 インチ ボルト3/8 x 1-1/4 インチ ボルト3/8 x 1インチ ナット $\frac{3}{8}$ " 昇降アームアセンブリ ボルト7/8 x 4-1/2 インチ ジャムナット7/8 インチ スピンドルワッシャ ボルト1/2 x 1-1/2 インチ ロックナット1/2 インチ シリンダマウントのピボットピン グリスフィッティング	1 2 3 1 3 1 2 2 8 1 1 1 1 1 1	昇降アームアセンブリを取り付けますモデル 30810 のみ。
3	リンクマウント ボルト $\frac{3}{8}$ x 1" ナット(3/8 インチ 昇降アームアセンブリ ボルト7/8 x 4-1/2 インチ ジャムナット7/8 インチ スピンドルワッシャ ボルト1/2 x 1-1/2 インチ ロックナット1/2 インチ ピボットピン グリスフィッティング	1 3 3 1 2 2 8 1 1 1 1	昇降アームアセンブリを取り付けますモデル 30812 のみ。
4	T字フィッティングモデル 30812 のみ ホースクランプ3/8 インチ ケーブルタイ	1 3 4	油圧ホースを取り付けます。
5	リレーブラケット リレー ボルト1/4 x 1/2 インチ ナット(1/4 インチ ボルト1/4 x 3/4 インチ デカル補助電源ユニットキットから スイッチ	1 6 6 7 1 1 2	リレーとスイッチを取り付けるモデル 30810 のみ。

手順	内容	数量	用途
6	リレーブラケット リレー ボルト 1/4 x 1/2 インチ ナット(1/4 インチ ボルト 3/8 x 2 インチ ワッシャ 0.406 inch ナット $\frac{3}{8}$ " ボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{1}{2}$ " ロックナット 1/4 インチ デカル補助電源ユニットキットから スイッチ	1 6 6 7 1 1 1 6 6 1 2	リレーとスイッチを取り付けるモデル 30812 のみ。
7	ワイヤハーネス	1	ワイヤハーネスを取付ける。
8	必要なパーツはありません。	-	組み立てを完了します。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車し、カッティングユニットを降下させ、マシンを停止させ、駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。

#### ▲ 注意

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

2. バッテリーのマイナス端子からバッテリーケーブルを外す。

# 2

## 昇降アームアセンブリを取り付ける

### モデル 30810

#### この作業に必要なパーツ

1	シリンダサポートアセンブリ
2	ボルト 3/8 x 2-3/4 インチ
3	ボルト 3/8 x 1-1/4 インチ
1	ボルト 3/8 x 1インチ
3	ナット $\frac{3}{8}$ "
1	昇降アームアセンブリ
2	ボルト 7/8 x 4-1/2 インチ
2	ジャムナット 7/8 インチ
8	スピンドルワッシャ
1	ボルト 1/2 x 1-1/2 インチ
1	ロックナット 1/2 インチ
1	シリンダマウントのピボットピン
1	グリスフィッティング

### 手順

注 キットの取り付け作業にあたり、機体後部を持ち上げてジャッキスタンドで支え、右後タイヤを取り外してください。

- スキッドアセンブリからボルト3本とナット3個を外す図1。

**注** ナットは捨てないこと。

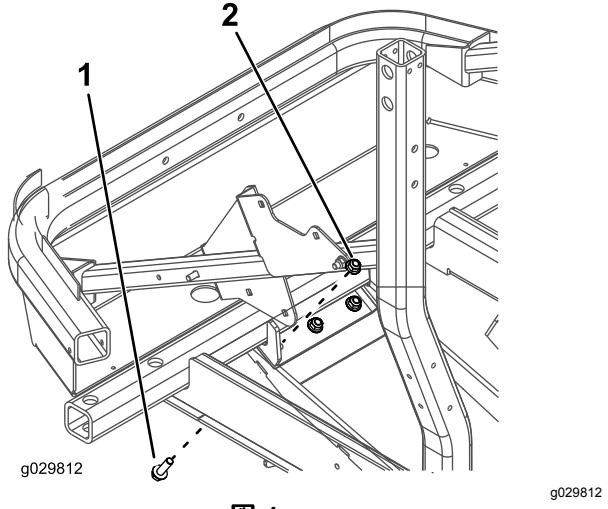


図1

1. ボルト

2. ナット

- シリンダサポートアセンブリを後バンパーブラケットとスキッドアセンブリに固定するボルト3/8 x 2-3/4インチ2本、ボルト3/8 x 1-1/4インチ3本、ナット3/8インチ2個と、今外したナット3個を使用する。

**注** シリンダサポートライトアセンブリを図2のように取り付ける。

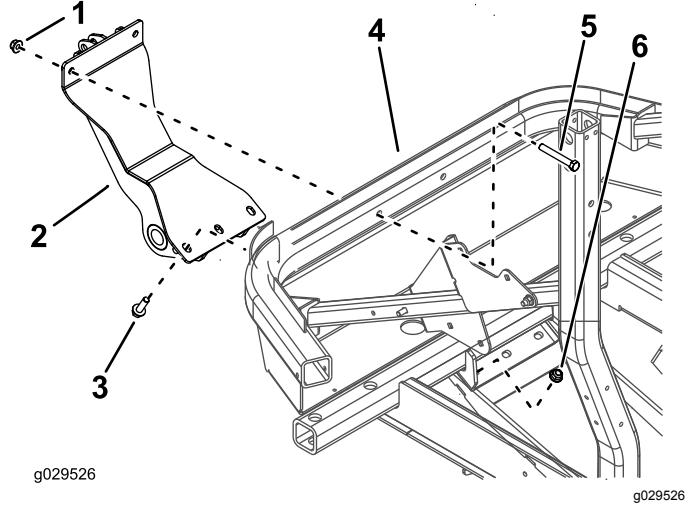


図2

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. ナット(3/8インチ)       | 4. 後バンパーブラケット        |
| 2. シリンダサポートアセンブリ     | 5. ボルト3/8 x 2-3/4インチ |
| 3. ボルト3/8 x 1-1/4インチ | 6. 既存のナット            |

- 昇降アームアセンブリを後フレーム部材に取り付けるボルト7/8 x 4-1/2インチ2本、ジャムナット7/8インチ2個と、スピンドルワッシャを必要なだけ使用して昇降アームと後フレーム部材の左右を均等にする。

**注** 各コンポーネントは図3のように組み付ける。

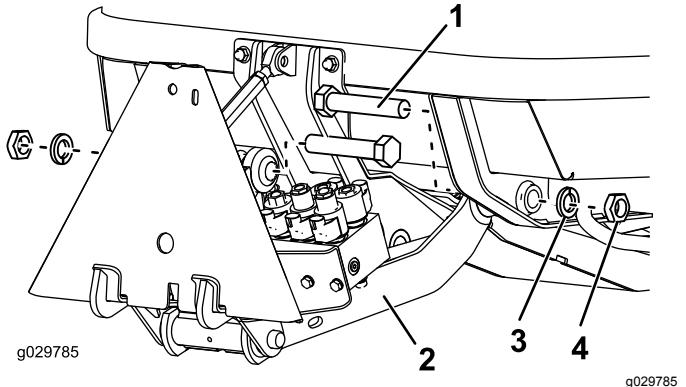


図3

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. ボルト7/8 x 4-1/2インチ | 3. スピンドルワッシャ |
| 2. 昇降アームアセンブリ        | 4. ジャムナット    |

- ボルトとロックナットを518648Nm 5366kg.m = 382478ft-lb にトルク締めする。

- ねじ山付きリンクの長さを190mmにセットしてジャムナットを締めつける図4。

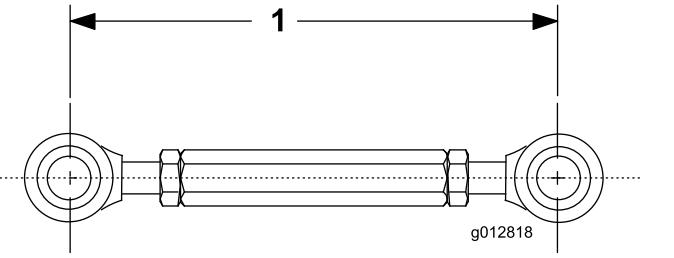
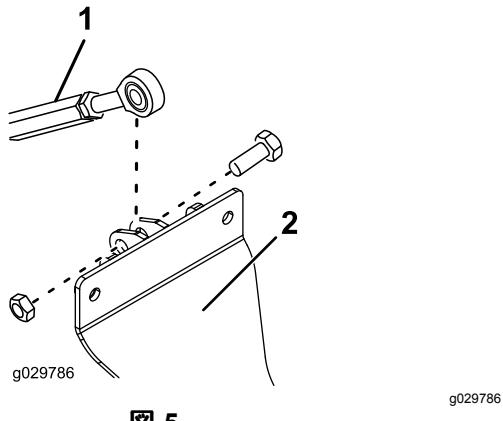


図4

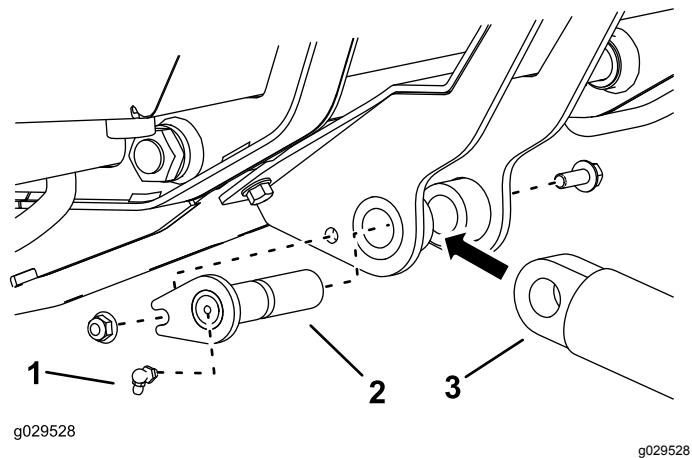
- ねじ山付きリンクの長さ—190mm

6. ねじ山付きリンクの端をシリンダサポートアセンブリに固定するボルト $1/2 \times 1\text{-}1/2$ インチ1本、ロックナット $1/2$ インチ1個を使用して図5のように取り付ける。



1. 昇降アダプタ 2. シリンダサポートアセンブリ

7. 油圧シリンダの端をシリンダサポートアセンブリに固定するシリンダ取り付けピボットピン、ボルト $3/8 \times 1$ インチ、ナット $3/8$ インチ1個を使用して図6のように取り付ける。



1. グリスフィッティング 2. ピボットピン 3. 油圧シリンダ固定側

8. ピボットピンの端部に、グリスフィッティングを図6のように取り付ける。

# 3

## 昇降アームアセンブリを取り付ける

### モデル 30812

#### この作業に必要なパーツ

1	リンクマウント
3	ボルト $3/8 \times 1"$
3	ナット(3/8 インチ)
1	昇降アームアセンブリ
2	ボルト $7/8 \times 4\text{-}1/2$ インチ
2	ジャムナット $7/8$ インチ
8	スピンドルワッシャ
1	ボルト $1/2 \times 1\text{-}1/2$ インチ
1	ロックナット $1/2$ インチ
1	ピボットピン
1	グリスフィッティング

#### 手順

注 キットの取り付け作業にあたり、機体後部を持ち上げてジャッキスタンドで支え、右後タイヤを取り外してください。

1. 後バンパー・ブラケットに、リンクマウントを取り付けるボルト $3/8 \times 1$ インチ3本、ナット $3/8$ インチ3個を使用する。

注 リンクマウントは図7のようにセットする。

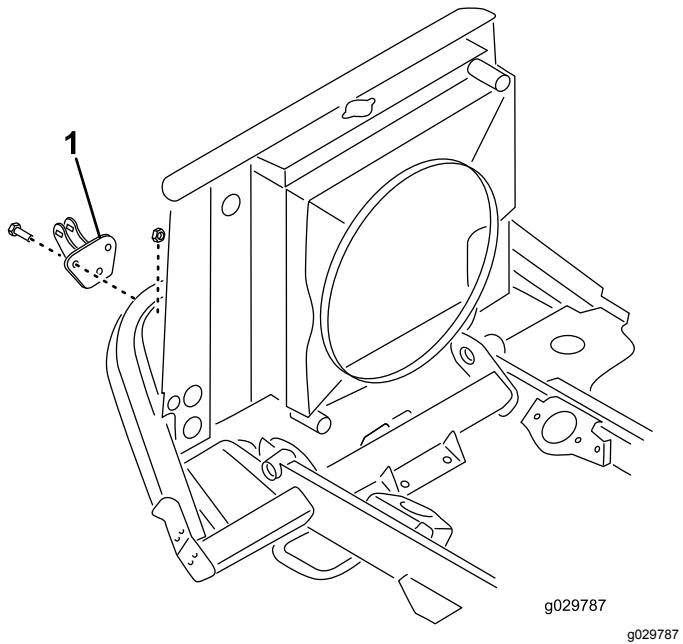


図 7

1. リンクマウント

2. 昇降アームアセンブリを後フレーム部材に取り付けるボルト $7/8 \times 4-1/2$  インチ2本、ジャムナット $7/8$  インチ2個と、スピンドルワッシャを必要なだけ使用して昇降アームと後フレーム部材の左右を均等にする。

注 各コンポーネントは 図 8 のように組み付ける。

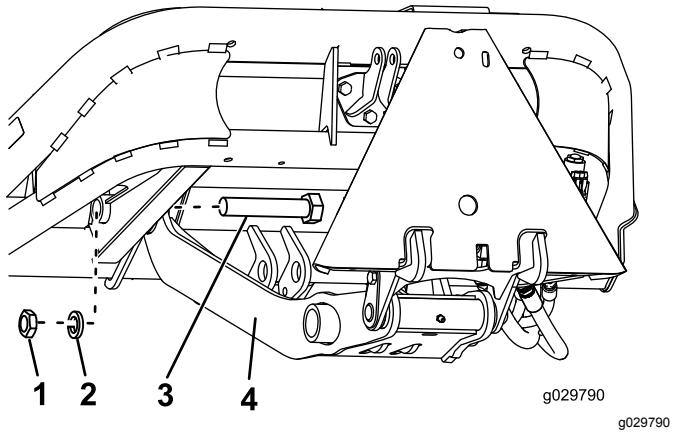


図 8

1. ジャムナット $7/8$  インチ      3. ボルト $7/8 \times 4-1/2$  インチ  
2. スピンドルワッシャ      4. 昇降アームアセンブリ

3. ボルトとロックナットを $518648\text{Nm}$   $5366\text{kg.m} = 382478\text{ft-lb}$  にトルク締めする。

4. ねじ山付きリンクの長さを $190\text{mm}$  にセットしてジャムナットを締めつける図 9。

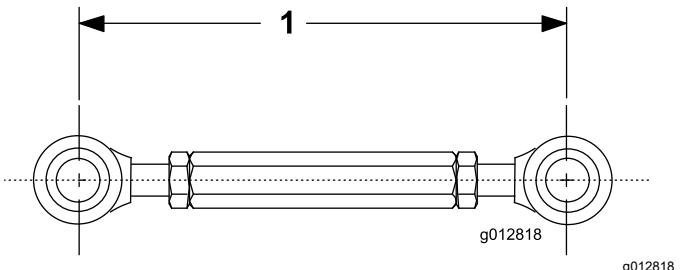


図 9

1. ねじ山付きリンクの長さ— $190\text{mm}$

5. ねじ山付きリンクの端をリンクサポートアセンブリに固定するボルト $1/2 \times 1-1/2$  インチ1本、ロックナット $1/2$  インチ1個を使用して図 10のように取り付ける。

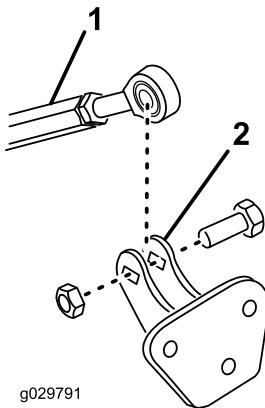


図 10

1. ねじ山付きリンク

2. リンクサポートアセンブリ

6. 油圧シリンダの固定側をフレームのクロス部材の下側に、ピボットピンで固定する図 11。

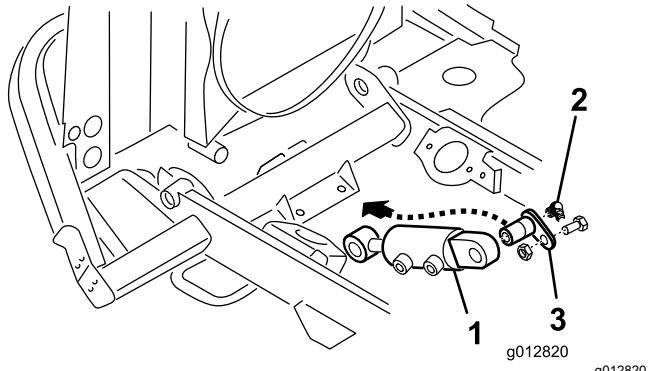


図 11

1. 油圧シリンダ固定側

3. ピボットピン

2. グリスフィッティング

7. ピボットピンの端部に、グリスフィッティングを取り付ける図 11。

注 フィッティングは 図 12 のように組み付ける。

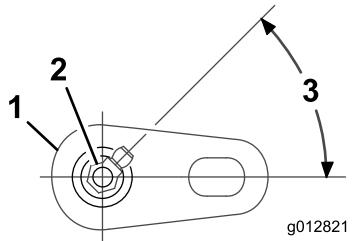


図 12

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 1. ピボットピン     | 3. グリスフィッティングの角度<br>— 45度 |
| 2. グリスフィッティング |                           |

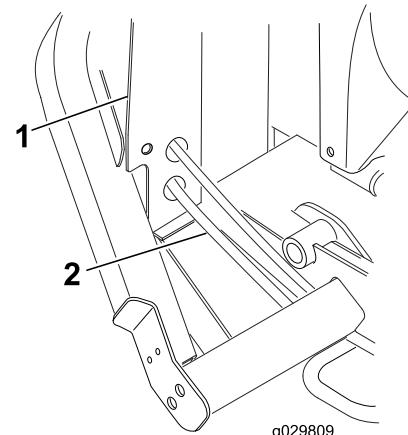


図 14  
モデル 30812

g029809

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. ラジエターフレーム | 2. オイルクーラの戻りホース |
|--------------|-----------------|

2. マニホールドからオイルクーラの戻りホースの場所へ短いホースを配置する。
3. モデル 30810 では、以下の要領で短いホースをオイルクーラのホースに接続する
  - A. オイルクーラの戻りホースのハードラインからキャップを外す図 15。

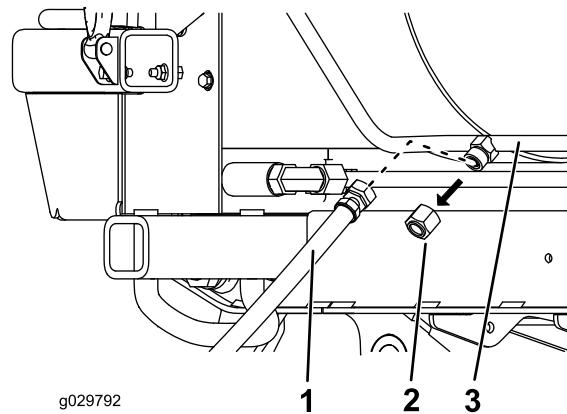


図 15

g029792

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 短いホース       | 3. オイルクーラの戻りホース |
| 2. ハードラインのキャップ |                 |

- B. ハードラインに短いホースをねじ込む図 15。
- C. ステップ 5へ進む。.
4. モデル 30812 では、以下の要領で短いホースをオイルクーラのホースに接続する
  - A. 短いホースにクランプを通してから、ホースの端にT字フィッティングを取り付ける図 16。

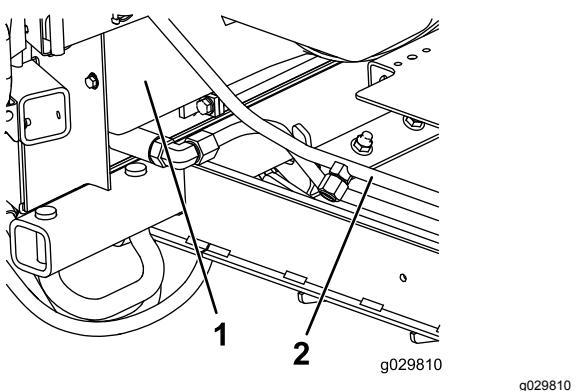


図 13  
モデル 30810

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. ラジエターフレーム | 2. オイルクーラの戻りホース |
|--------------|-----------------|

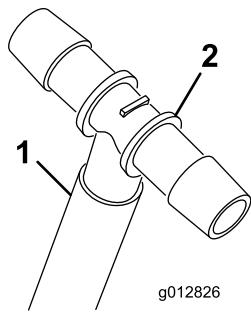
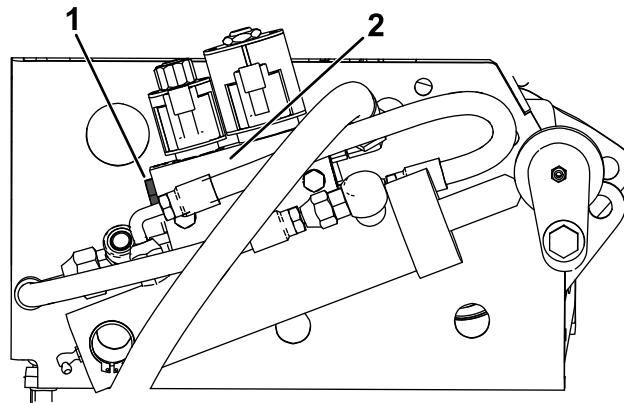


図 16

1. 短いホース

2. 字フィッティング

g012826



g029530

図 18

1. プラグ

2. バルブアセンブリ

g029531

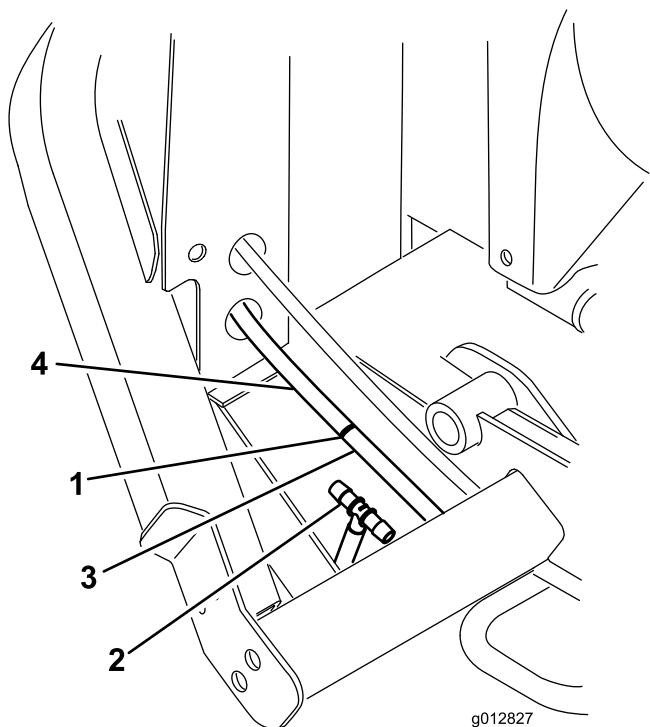


図 17

1. ここでホースを切断する。
2. 字フィッティング
3. デッキ昇降バルブへ
4. オイルクーラから

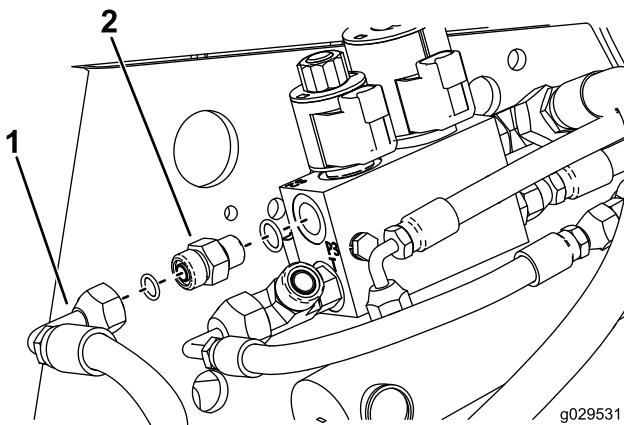
g012827

B. ラジエターのフレームからおよそ127mmのところで戻りホースを切断する図 17。

**注** これはデッキ昇降バルブとオイルクーラをつなぐホース。油圧オイルをなるべくこぼさないようにホースの両端を上向きに持つ。

6. バルブアセンブリの左側にあるプラグを外す図 18。

7. バルブに油圧バルブフィッティングを取り付ける図 19。



g029531

図 19

1. ホース

2. ストレートフィッティング

g029531

C. ホースクランプ7/8インチを使ってホースを3本ともT字フィッティングに固定する。

D. 短いホースをオイルクーラの戻りホースのポートに接続する。

5. 右フレームにあるデッキ昇降バルブアセンブリを探し出す図 18。

**注** 長いホースは、トランスミッションベイからバルブアセンブリに入るホースと並びます。

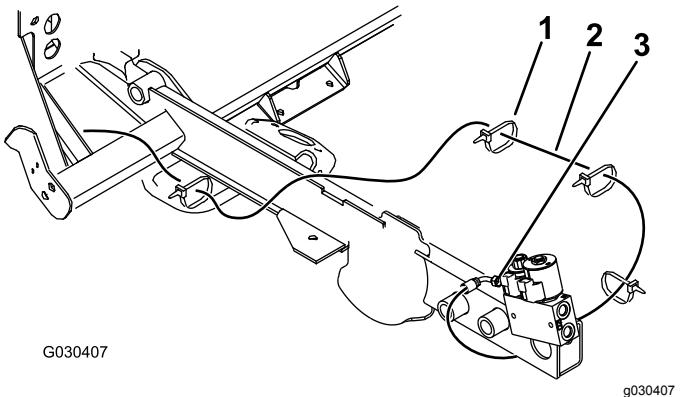


図 20

- 1. ケーブルタイ
- 2. 長いホース
- 3. バルブ

9. 長いホースをケーブルタイ4本で固定する図 20。
10. ホースのフィッティングをストレートフィッティングに固定する図 19。

# 5

## リレーとスイッチを取り付ける モデル 30810

この作業に必要なパーツ

1	リレーブラケット
6	リレー
6	ボルト1/4 x 1/2 インチ
7	ナット(1/4 インチ)
1	ボルト1/4 x 3/4 インチ
1	デカル補助電源ユニットキットから
2	スイッチ

## 手順

1. 機体の右側で、リレーブラケットにリレーを6個取り付けるボルト1/4 x 1/2 インチ6本とナット1/4 インチ6個を使用して図 21のように取り付ける。

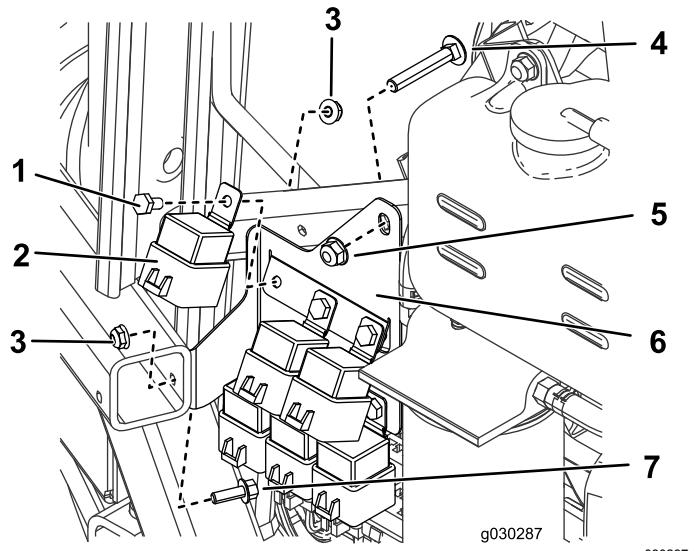


図 21

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. ボルト1/4 x 1/2 インチ | 5. サポートチューブのナット     |
| 2. リレー              | 6. リレーブラケット         |
| 3. ナット(1/4 インチ)     | 7. ボルト1/4 x 3/4 インチ |
| 4. サポートチューブのボルト     |                     |

2. サポートチューブからボルトとナットを外す。
3. リレーブラケットを機体に取り付けるボルト1/4 x 3/4 インチとナット1/4 インチと、いま外したボルトとナットを使用する図 21。
4. コントロールパネルカバーのラッチを外してカバーを取り外す図 22。

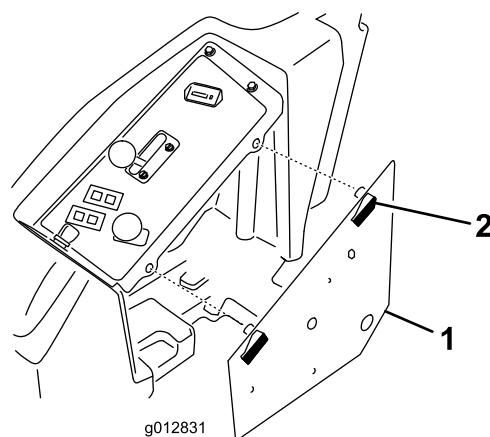


図 22

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1. コントロールパネル | 2. ラッチ |
|--------------|--------|
5. コントロールパネルから打ち抜きプラグ2ヶ所を打ち抜いて外す図 23。

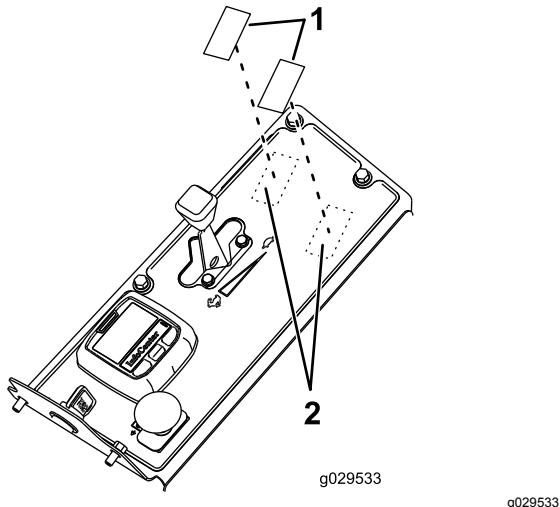


図 23

1. 打ち抜きプラグ  
2. 打ち抜きプラグの位置
- 
6. パネルの打ち抜き穴を覆っているデカルを慎重にはがして除去する。  
**注**スイッチ取り付けに必要なプラグとデカルのみに作業を行うこと。
  7. 打ち抜き部分のバリなどを除去する。
  8. パネルの表面をきれいにして穴を取り囲むようにデカルを貼り付ける図 24。

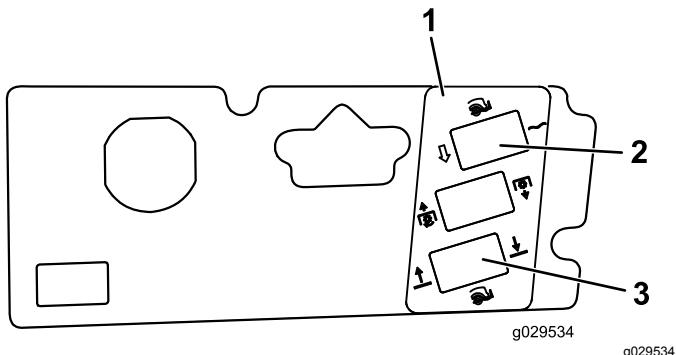


図 24

1. デカル  
2. フロート/押圧スイッチ2ポジションスイッチ  
3. フロート/下降スイッチ3ポジションスイッチ
- 

9. できた穴にスイッチを入れる図 24。

**注**スイッチの平たい側がオペレータを向くように取り付ける。

# 6

## リレーとスイッチを取り付ける モデル 30812

### この作業に必要なパーツ

1	リレーブラケット
6	リレー
6	ボルト1/4 x 1/2 インチ
7	ナット(1/4 インチ)
1	ボルト3/8 x 2 インチ
1	ワッシャ0.406 inch
1	ナット3/8"
6	ボルト1/4 x 1/2"
6	ロックナット1/4 インチ
1	デカル補助電源ユニットキットから
2	スイッチ

### 手順

1. フレームにリレーブラケットを仮止めするボルト3/8 x 2 インチ、ワッシャ0.406 インチとナット3/8 インチを使用して図 25のように取り付ける。

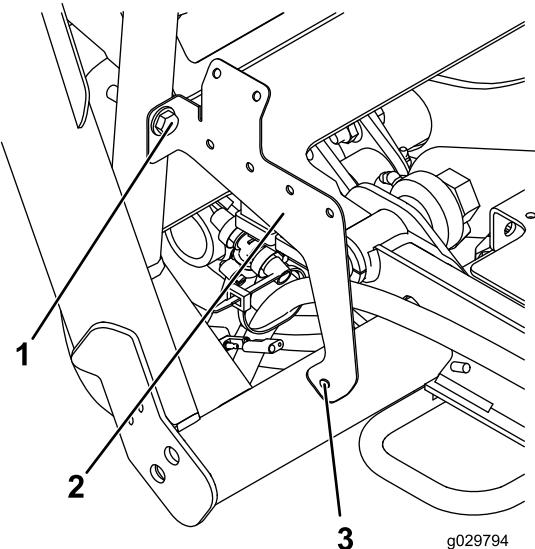


図 25

1. ボルト、ナット、ワッシャ  
2. リレーブラケット  
3. ここにマーキング

- 
2. 図 25 に指示されている箇所にマークを入れる。

3. ブラケットを外して、ドリルで穴7mmを開ける。マークの下は二重壁になっているので、両方を貫通させる。
4. ブラケットを仮止めしていた金具を使用して新しい穴にブラケットを取り付けるボルト1/4 x 2-1/2 インチとナット1/4 インチを使用する。
5. リレー6個をブラケットに取り付けるボルト1/4 x 1/2 インチ6本とロックナット1/4 インチ6個を使用する。

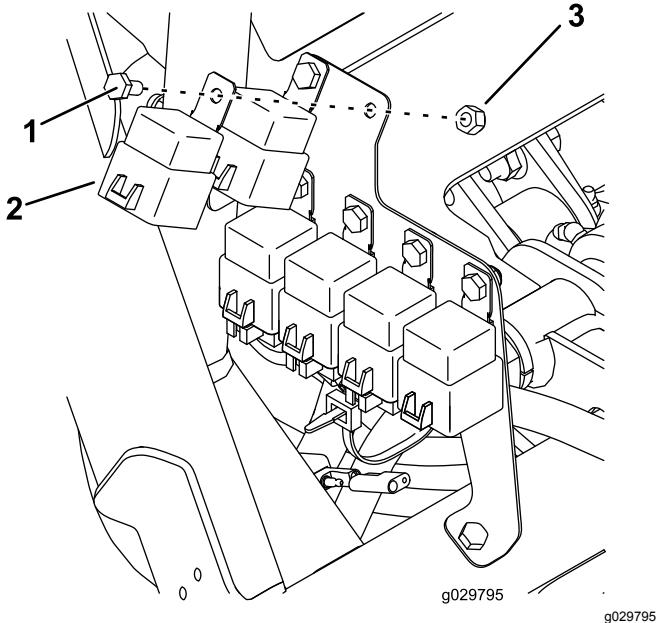


図 26

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. ボルト1/4 x 1/2 インチ | 3. ロックナット(1/4 inch) |
| 2. リレー              |                     |

6. コントロールパネルカバーのラッチを外してカバーを取り外す図 22。

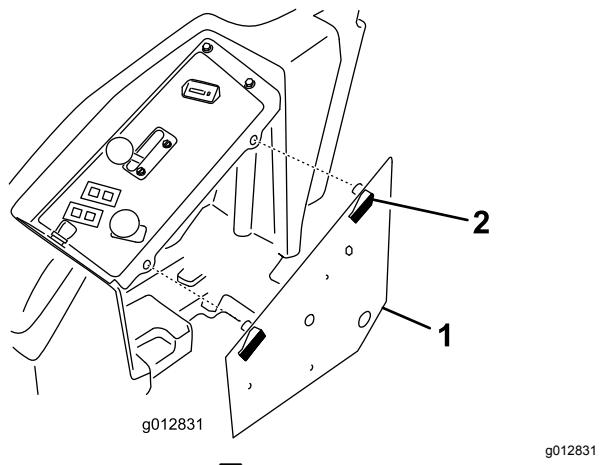


図 27

- |              |        |
|--------------|--------|
| 1. コントロールパネル | 2. ラッチ |
|--------------|--------|

7. コントロールパネルから打ち抜きプラグ2ヶ所を打ち抜いて外す図 28。

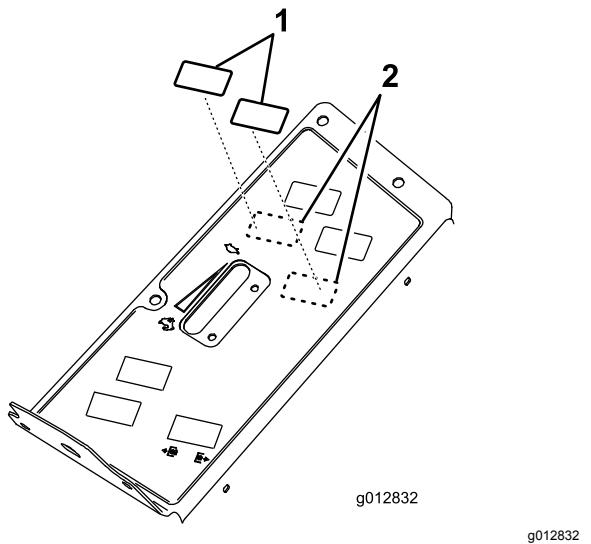


図 28

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1. 打ち抜きプラグ | 2. 打ち抜きプラグの位置 |
|------------|---------------|

8. コントロールパネルの打ち抜き部を覆っているデカルを慎重に切り取って穴を露出させる。
- 注 スイッチ取り付けに必要なプラグとデカルのみに作業を行うこと。
9. 打ち抜き部分のバリなどを除去する。
10. パネルの表面をきれいにして穴を取り囲むようにデカルを貼り付ける図 29。

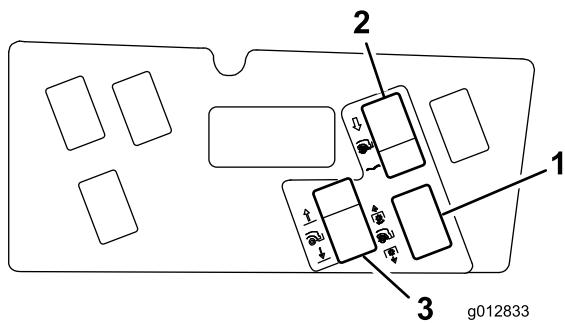


図 29

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. デカル                   | 3. フロート/下降スイッチ3ポジションスイッチ |
| 2. フロート/押圧スイッチ2ポジションスイッチ |                          |

11. できた穴にスイッチを入れる図 29。

注 スイッチの平たい側がオペレータを向くように取り付ける。

# 7

## ワイヤハーネスを取付ける

### この作業に必要なパーツ

1 ワイヤハーネス

### 手順

**注** 補助パワーユニットキット P/N 30382 が搭載されている必要があります。

1. ワイヤハーネスの配設作業中にコネクタがほこりなどで汚れないように、ワイヤハーネスから出ているコネクタをマスキンテープなどで保護する。
2. ワイヤハーネス図 30と図 31を以下の場所に取り付ける
  - 油圧マニホールドのコネクタ
  - リレーブラケットのリレー6個
  - メインハーネスのコネクタ右オペレータコントロールの下、モジュールSCMの隣

**注** メインハーネスのコネクタは 2芯の Metri-pak コネクタです茶色線と薄茶線

- デッキ昇降イン AとB

**注** 昇降マニホールドブロックの2つのコネクタを外し、これらをワイヤハーネスに接続する。

- デッキ昇降アウト AとB

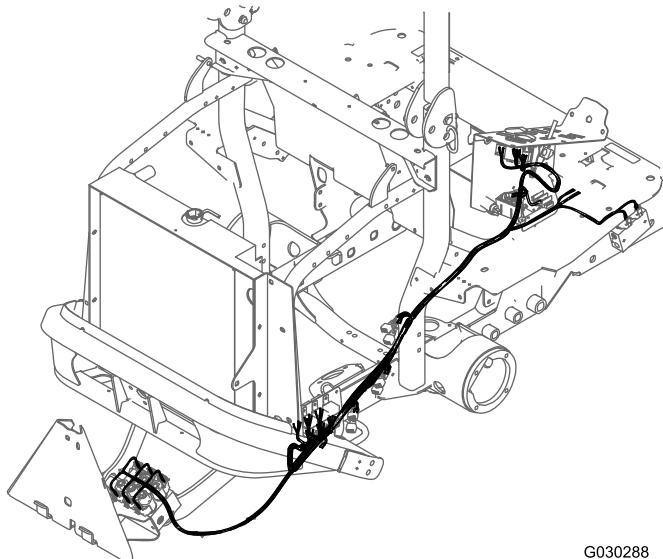
**注** 昇降ブロックマニホールドの、今コネクタ2個を外した場所にワイヤハーネスを接続する。

- ピンクの電源用コネクタ
- アース端子へ
- 昇降スイッチ
- フロート/許可スイッチ

3. ケーブルタイを使ってワイヤハーネスを機体に固定する。

**重要** ハーネスが、鋭利な部分、高温部、可動部などの近くを通らないよう注意してください。

**重要** ワイヤハーネスを機体のテールパイプから十分に離して固定してください。



G030288

図 30

g030288

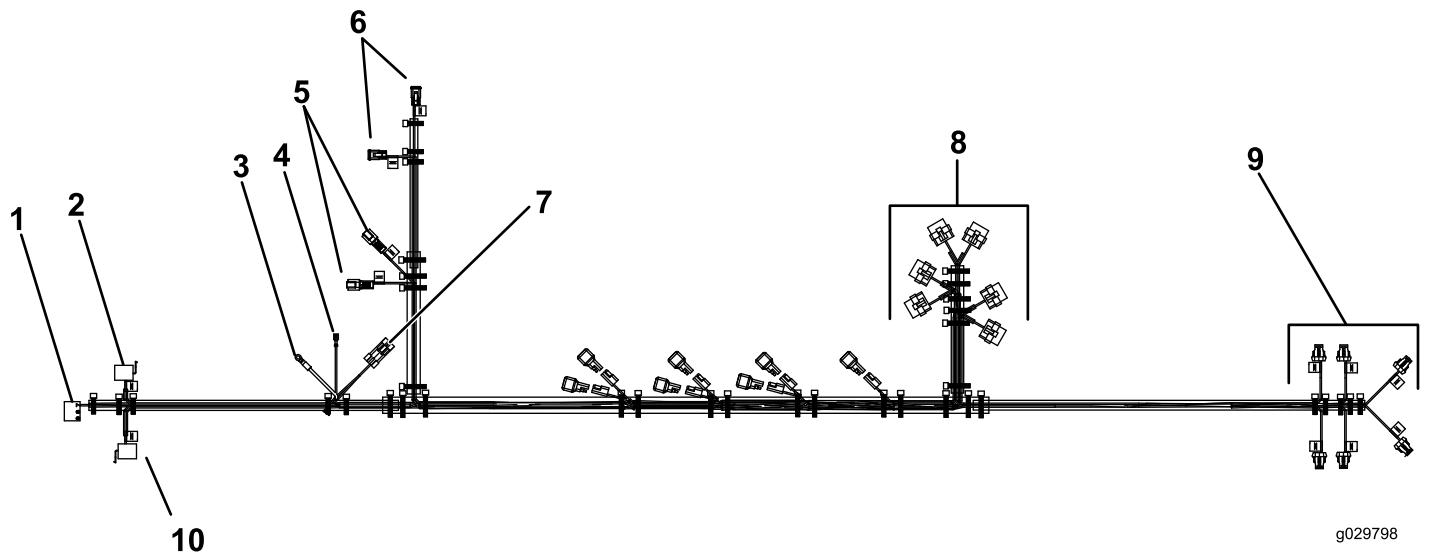


図 31

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. プロア PTO スイッチプロア用 | 6. デッキ昇降アウトAとB  |
| 2. 昇降スイッチ           | 7. メインのワイヤハーネス  |
| 3. アース              | 8. リレー6個        |
| 4. 電源               | 9. 油圧マニホールド     |
| 5. デッキ昇降インAとB       | 10. フロート/押圧スイッチ |

g029798  
g029798

# 8

## 取り付けを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

- 新しいグリス注入部すべてにNo.2汎用リチウム系グリスを注入する。
- 油圧オイルの量を点検し、必要に応じて補給する。
- バッテリーのマイナス-ケーブルを接続する。
- エンジンを始動して後部昇降装置の試運転を行う。オイル漏れがないか点検し、必要に応じてオイルを補給する。

**注** 正しく組み付けられていれば、キーが OFF 位置にあるときにはマニホールドに通電されません。

# 運転操作

## 昇降スイッチ

昇降スイッチを上昇位置にするとアタッチメントが上昇し、下降位置にするとアタッチメントが下降します  
[図 33](#)。

## フロート/押圧スイッチ

スイッチをフロート位置にするとアタッチメントがアンジュレーションに沿って滑らかに上下します。スイッチを押圧位置にすると、アタッチメントを地面に押し付けて作業をすることができます  
[図 33](#)。押圧を強くすると、その分だけ走行力がちいさくなります。

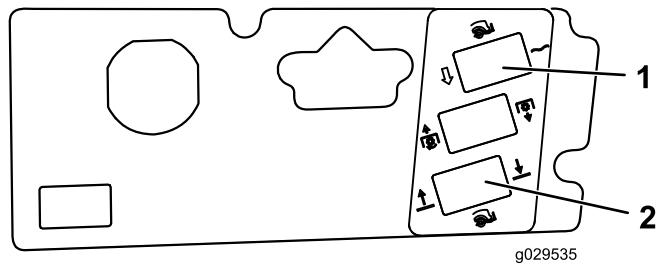


図 32  
モデル 30810

1. フロート/押圧スイッチ    2. 昇降スイッチ

g029535

g029535

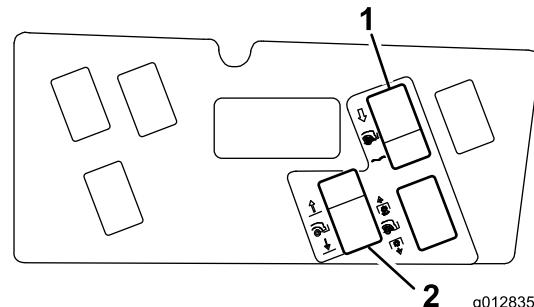


図 33  
モデル 30812

1. フロート/押圧スイッチ    2. 昇降スイッチ

g012835

g012835

## アタッチメントの角度を調整する

アタッチメントの角度の調整は、以下の手順で行います

- ねじ山付きリンクのジャムナットをゆるめる  
[図 34](#)。
- 六角チューブを回して適当な角度にする  
[図 34](#)。
- ジャムナットを締めて調整を固定する  
[図 34](#)。

4. エンジンをアイドル回転させた状態で後部アタッチメントを上昇させ、フードに接触しないことを確認する。

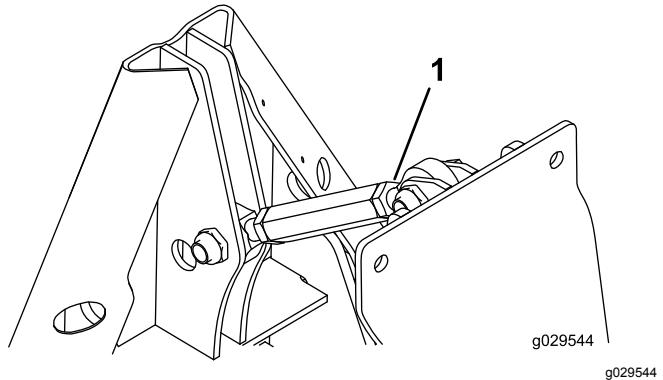


図 34

1. ねじ山付きリンク

# モデル 30810 用ウェイト一覧表

必要な前ウェイトの種類や数については次の表で確認してください。

刈幅 72 インチ モデル 30695 に 30354、30481、 または 30353 および	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QASモデル 30810搭載でアタッチメントなし	66kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 1
仕上げグレーダボックスレーク モデル 08754	211 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
スチール製ドラグマット モデル 08757	196 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
ツースレーク モデル 08751	77kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 1
ツースレークスプリングレーク モデル 08752	208 kg	125-2655-03, 125-2670, 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
ココナツマット モデル 08758	196 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
ネイルドラッグ モデル 08781	94kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
プロア モデル 30393	96kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

刈幅 72 インチ モデル 30695 に 30354、30481、または 30353 にハードキャノピ モデル 30349 および	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QASモデル 30810搭載でアタッチメントなし	188 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2

仕上げグレーダボックスレークモデル 08754	253 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
スチール製ドラグマット モデル 08757	238 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
ツースレーク モデル 08751	211 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 2
ツースレークスプリングレーク モデル 08752	238 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
ココナツマット モデル 08758	238 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
ネイルドラッグ モデル 08781	238 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
プロア モデル 30393	253 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 3
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

刈幅 60 または 62 インチ モデル 30695 に 30456、または 30457 および	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QASモデル 30810搭載でアタッチメントなし	66kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 1
仕上げグレーダボックスレークモデル 08754	272 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 4
スチール製ドラグマット モデル 08757	259 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 4
ツースレーク モデル 08751	211 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケ ス形ウェイト	4 1 2

ツースレーキスプリングレーキ モデル 08752	252 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 3
ココナツマット モデル 08758	252 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 3
ネイルドラッグ モデル 08781	252 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 3
プロア モデル 30393	276 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 4
ラーン社製グルーマ提携メーカー製品	非承認製品			

刈幅 60 または 62 インチ モデル 30362 と 30365 にハードキャノピーモデル 30359 および	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QAS モデル 30810 搭載でアタッチメントなし	188 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 2
仕上げグレーダボックスレーキ モデル 08754	314 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 5
スチール製ドラッグマット モデル 08757	301 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 5
ツースレーキ モデル 08751	236 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 3
ツースレーキスプリングレーキ モデル 08752	294 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 4
ココナツマット モデル 08758	294 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 4
ネイルドラッグ モデル 08781	294 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスーツケー ス形ウェイト	4 1 4

プロア モデル 30393	318 kg	125-2655-03、 125-2670、 および 114-4096	前フレーム 用ウェイト、 ウェイトブラケット、 およびスツケー ス形ウェイト	4 1 5
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

## モデル 30812 用ウェイト一覧表

必要な前ウェイトの種類や数については次の表で確認してください。

刈幅 72 インチ モデル 30495 または 30487 に 30354、 30481、または 30353 を搭載し、 ハードキャノピモデル 30349は搭載せず、	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QASモデル 30812搭載でアタッチメントなし	0 kg	—	—	—
仕上げグレーダボックスレーク モデル 08754	0 kg	—	—	—
スチール製ドラグマット モデル 08757	0 kg	—	—	—
ツースレーク モデル 08751	0 kg	—	—	—
ツースレークスプリングレーク モデル 08752	0 kg	—	—	—
ココナツマット モデル 08758	67 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 1
ネイルドラッグ モデル 08781	67 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 1
プロア モデル 30393	109 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 2
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3

刈幅 72" モデル 30495 または 30487 に 30354、 30481 または 30353 を搭載し、 ハードキャノピモデル 30359および以下を搭載	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QASモデル 30812搭載でアタッチメントなし	0 kg	—	—	—
仕上げグレーダボックスレーク モデル 08754	25 kg	125-2670	前ウェイトブラケット	1
スチール製ドラグマット モデル 08757	25 kg	125-2670	前ウェイトブラケット	1
ツースレーク モデル 08751	25 kg	125-2670	前ウェイトブラケット	1
ツースレークスプリングレーク モデル 08752	25 kg	125-2670	前ウェイトブラケット	1 1
ココナツマット モデル 08758	109 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 2
ネイルドラッグ モデル 08781	109 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 2

プロア モデル 30393	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

刈幅 62" モデル 30495 または 30487 に 30456 または 30457 を搭載し、 ハードキャノピ モデル 30349 は搭載せず以下を搭載	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QAS モデル 30812 搭載でアタッチメントなし	67 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 1
仕上げグレーダボックスレー キ モデル 08754	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
スチール製ドラグマット モデル 08757	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ツースレー キ モデル 08751	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 2
ツースレー キスプリングレー キ モデル 08752	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ココナツマット モデル 08758	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ネイルドラッグ モデル 08781	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
プロア モデル 30393	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

刈幅 62" モデル 30362 と 30365 にハードキャノピ モデル 30359 および以下を搭載	必要となる前ウェイト	ウェイトのパーツ番号	ウェイトの名称	数量.
後部 QAS モデル 30812 搭載でアタッチメントなし	109 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 2
仕上げグレーダボックスレー キ モデル 08754	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
スチール製ドラグマット モデル 08757	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 4
ツースレー キ モデル 08751	151 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 3
ツースレー キスプリングレー キ モデル 08752	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 4
ココナツマット モデル 08758	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 4

ネイルドラッグ モデル 08781	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 4
ブロア モデル 30393	193 kg	125-2670 および 114-4096	前ウェイトブラケット および 19kg 前ウェイト	1 4
ラーン社製グルーマ 提携メーカー製品	非承認製品			

## ヒント

- 本機をご使用になる前に必ずこのオペレーターズマニュアルをお読みになり内容をよく理解してください。
- 後部アタッチメントに対応する適切なウェイトブラケットおよびウェイトを車両前部に必ず取り付けてください。
- 刈り込みを行う時は、後部アタッチメントと車両前部の着脱タイプのウェイトをすべて外してください。
- 後部アタッチメントは車幅よりも広いものが多くあり、立木や建造物等にアタッチメントをぶつける可能性がありますから、十分注意して作業を行ってください。
- 周囲に人のいる場所では絶対に作業をしないでください。

## 保守

- 毎週または洗車直後に必ずNo.2汎用リチウム系グリスで潤滑を行ってください。
- ほこりの多い環境で使用するときには、エアクーラーを毎日点検してください。既存のエアクーラーに安全エアクーラーエレメントを追加すると、エンジンをより確実に保護することができます。

メモ

# カリフォルニア州第65号決議による警告

## この警告は何?

以下のような警告ラベルが張られた製品を見かけることがあるでしょう



## Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めてます。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ <https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>。

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていたことがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

## この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

## カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

## 似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

## なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考え方から、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて Prop 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。

**TORO**<sup>®</sup>**Toro 製品保証**

2 年間または 1,500 時間限定保証

**保証条件および保証製品**

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となつた場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アーメータを装備している機器に対して適用します。

**保証請求の手続き**

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかつたり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

Toro Warranty Company

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: [commercial.warranty@toro.com](mailto:commercial.warranty@toro.com)**オーナーの責任**

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠つたことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

**保証の対象とならない場合**

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかつたことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なバーツ通常の使用に伴つて磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ペアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかつたり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

**米国とカナダ以外のお客様へ**

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

**部品**

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

**ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証**

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなっています。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーのみ2年経過後は日割り計算とします。詳細についてはバッテリーのサービスマニュアルを参照のこと。

**クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ**

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC 摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBC その他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

**保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします**

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

**その他**

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴つて発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限つて適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従つて、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますか、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

**排ガス保証についてのご注意**

米国においては環境保護局EPA やカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。